

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	
施設名	不動の森こども園
施設所在地	福生市福生2 1 4 3 - 1 1
法人名	社会福祉法人不動福祉会

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

「ゆらゆら」
--------

<テーマの設定理由>

・ 日常の中での「ゆらゆら」を発見し、体感する。
--------------------------

## 2. 活動スケジュール

令和6年7月～令和7年3月 ・ 3月
-----------------------

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・ 生活の場、園庭遊び ・ 日々使用している身近なもの、玩具や遊具 ・ アイパッド
---

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

- ・身近なものから「ゆらゆら」を探求し、揺れを体感する。
- ・友だちとの関わりや遊びを楽しみながら「ゆらゆら」を探求し、感じたことを共有する。

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

・平均台は、経験が少なかったこともあり一人で渡ることが困難であったが保育者と手をつないで渡ることによって達成することができた。また、何度も繰り返し行うことで渡り切る早さが増して友だち同士で手を握り合い協力して渡ることができていた。「落ちるよ」「怖いよ」と口々に感想を発する中「バランスをとるんだよ」という保育者の言葉掛けにバランスを取ろうとした子が「ゆれてる」とつぶやく。それらの様子を見ていた他の児は「ゆらゆら」ということに気づいていた。「ゆれる」ということを視覚で見、「ゆれる」体験をすることができた平均台であった。木馬についても同様であった。



#### 5. 振り返り

##### <振り返りによって得た先生の気づき>

・自然から生まれる「ゆらゆら」（風）を目で見ただけではなく、実際に身体を使って「ゆらゆら」を作ったりする等と体感することができたようで、子どもたちは様々な「ゆらゆら」を経験することができた。

・「ゆらゆら」（揺れ）は生活する中で必ず目の前にする事象であるが、今、大人が探すとすると何だろうと疑問になる内容であることが分かった。子どもは当たり前のことや、生活する上で疑問に感じたことを常に私たち保育者や大人に訪ねてくる姿から、その疑問についてこちらも共感して共に探求していかなければならないのだと感じた。それを行うことで一人ひとりの子どもの探求心を養い豊かな経験値となり人として成長するのだと気付く。